
竹とんぼ-修正版-

あるふおーどM

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

竹とんぼ一修正版一

【Nコード】

N0856C

【作者名】

あるふおーどM

【あらすじ】

父と子と、子と娘と。あっさりした物語です。短いので2・3分程度で読み終わると思います。

(前書き)

「みそら」「時間」というお題を頂いて書いた作品です。

お題に合わない等何か感じるものがありましたら、ばんばん酷評してくださいません。

それが、良くも悪くも作者のモチベーションにもフラストレーションにもなります。

「お父さん、何してるの？」

僕は真剣そうに木を削っているお父さんのもとに駆け寄った。

「ちょっと待ってろよ」

と、お父さんは返事をしてまた黙々と木を削っている。がんばっているんだなと、僕はお父さんの手元をまじまじと見つめていた。十分ぐらいたっただろうか。僕はお父さんが何を作ろうとしているのかがよくわかった。

「お父さん、もしかして竹とんぼを作っているの？」

そうだよ、とお父さんが答えるとはかり僕は思っていたが、お父さんの返事はない。お父さんを見てみると、真剣に木を削っていた。お父さんは一生懸命なんだ、と一人で納得した。

「できたぞ」

お父さんは満面の笑みを浮かべて、竹とんぼを僕に渡してくれた。いいか、こうやって飛ばすんだぞ」

とお父さんが教えてくれたとおりやってみたが、いくらやっても竹とんぼは一向に飛ばない。お父さんもやってみたが竹とんぼは地面に落ちるばかり。拳句の果てに、竹とんぼの羽が折れてしまった。

「あれ、おかしいなあ」

とお父さんは首をかしげて笑っていた。僕もおかしくて一緒に笑っていた。そしてその日は一日中僕たちは笑っていた。

次の日お父さんが珍しく真剣な表情をしたまま帰ってきた。お母さんの困惑した声が聞こえる。不思議に思っ僕がお父さんのもとに駆け寄ったら、お父さんとお母さんが真剣な表情になって僕に話しかけてきた。

「お父さんは明日から遠いところに転勤する事になったの。明日か

らお母さんと二人っきりになっちゃうけど大丈夫かな？」

僕は突然の事でよくわからなかったが、ただ頷くしかなかった。

「えらいぞ。さすがお父さんの息子だ。明日からこの家に男はお前しかない。お母さんを守ってくれ」

ぼくはお父さんの言っている事がよくわからなかったが、頷いた。お母さんがありがとうというしながら僕に抱きついてきた。そしてその日がお父さんを見た最後の日となった。

「お父さん、何してるの？」

あれからいろいろあって僕は大人になった。楽しい事も、つらい事もたくさんあったが僕は父親になった。

「ねー、お父さん！ なーにーしーてーるーのー」

娘が僕の体を小さな手でゆする。

「竹とんぼを作っているんだよ」

「竹とんぼってなあに？」

今時の子は竹とんぼも知らない時代になってしまったか。僕は少し寂しい気持ちになった。

「こうやってあげると、空を飛ぶんだよ」

と、竹とんぼを空に飛ばす。

「お父さんすごい！ 絵美にもやらせてー！」

そういつて、絵美に竹とんぼの遊び方を教えると、その小さな手から一匹の竹とんぼが御空を翔けた。

（後書き）

お父さん、僕はこの子の笑みを絶やさないう今日を生きます。

というのが最後の一行に入っていました。あえて書きませんでした。

修正版というのは、誤字脱字等がひどい為に修正を加えたということです。

また、お父さん（僕の父親）が亡くなったというシーンは作者の力不足のため省いてあります。（書けなかったのと、作品の印象を壊すかも・・・ってこれは言い訳か）

なので現実味が薄いですが、その点につきましては作者が力を付けましたら後日書かせていただきますのでその事についての酷評・・・

・無かったらいいなあ（´・ω・´）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0856c/>

竹とんぼ-修正版-

2011年2月3日01時47分発行